

東京都立若葉総合高等学校 平成30年度 教科:「国語科」科目:「国語総合(古典)」 年間授業計画

教科:国語科 科目:国語総合(古典) 単位数:2単位

対象学年組:(第1学年A組~F組)

教科担当者:(法邑拓也:A,B,C)(依田詩織:D,E,F)

使用教科書:(『国語総合 改訂版』筑摩書房)

使用教材:(『完全マスター古典文法』(株)第一学習社)

	指導内容	科目「国語総合(古典)」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4月	オリエンテーション 歴史的仮名遣い	古文に接することに興味・関心をもつ。 現代仮名遣いとの違いを理解する いろは歌の意味や内容を理解する。古典における五十音図を理解する。	出席状況 提出物 授業態度	4
5月	『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 『宇治拾遺物語』 「絵仏師良秀」	歴史的仮名遣いに注意して音読することができる。 古語辞典に触れ、引き方に慣れる。 「児」が心の中で思っていることを抜き出して整理できる。 説話を読むことに面白さや興味を持つ。音読を積極的にする。 「良秀」の人物像を読み取る。 主語を明確にして訳せるようになる。	出席状況 提出物 授業態度 定期考査	6
6月	品詞の分類 用言の活用(動詞の活用)	品詞の種類について理解する。 基本的な品詞を区別できるようにする。 用言の活用の種類を学ぶ。 文中の用言の活用の種類を判別できるようになる。 用言の活用形について学ぶ。 文中の用言の活用形を判別できるようになる。	出席状況 提出物 授業態度	9
7月	用言の活用(形容詞・形容動詞)	形容詞・形容動詞の活用の種類を学ぶ。 文中の形容詞・形容動詞の活用の種類を判別できるようになる。 形容詞・形容動詞の活用形について学ぶ。 文中の形容詞・形容動詞の活用形を判別できるようになる。	出席状況 提出物 授業態度 定期考査	4
9月	『伊勢物語』 「東下り」 『伊勢物語』 「筒井筒」	歴史的仮名遣いに注意して音読することができる。 古語辞典に触れ、引き方に慣れる。 重要古語を理解することができる。 文法事項を理解した訳を作ることができる。 登場人物の心情を読み取ることができる。 和歌の修辞法について学ぶ。	出席状況 提出物 授業態度	4
10月	『徒然草』 「序文」 他	随筆に触れ、教材に興味関心を持つ。 重要古語を理解する。 文法事項を理解した訳を作ることができる。 登場人物の心情や場面を理解することができる。	出席状況 提出物 授業態度 定期考査	7
11月	『平家物語』 木曾の最期	軍記に触れる。 重要古語を理解する。 歴史的仮名遣いに注意して音読することができる。 人物関係を理解し、登場人物の行動や心情を読み取ることができる。	出席状況 提出物 授業態度	9
12月	和歌と俳諧	和歌や俳諧について理解する。 重要古語を理解する。 歴史的仮名遣いに注意し、感情を込めて朗読することができる。 時代背景や作者のおかれた環境を理解し、心情を読み取ることができる。 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』について理解する。 和歌を読んだ感想を自分の言葉で書くことができる。	出席状況 提出物 授業態度 定期考査	5
1月	漢文を学ぶために 訓読のきまり	中国文化や漢文に関心を持つ。 積極的に音読する。 返り点に従って正しく音読する。 漢文訓読の仕方を理解する。 返り点の種類や用法を理解する。 書き下し文の原則を理解する。 代表的な再読文字・助字・返読文字の種類や用法を理解する。	出席状況 提出物 授業態度	6
2月	漢文故事「朝三暮四」 他	故事や漢文、中国文化に関心を持つ。 訓読の決まりに従って、正しく音読することができる。 訓読の決まりに従って、正しく書き下すことができる。 内容を的確に理解することができる。	出席状況 提出物 授業態度	6
3月	漢文故事「朝三暮四」 他	以前やったことを理解しながら、故事の意味を理解することができる。 故事を用いて文章を作ることができる。	出席状況 提出物 授業態度 定期考査	3